

令和 4 年 3 月

本市における救命救急体制を取り上げ、コロナ禍で救急搬送困難事案が急増していることから、搬送先決定までの時間を短縮するため、広島県福山地区消防組合と神奈川県鎌倉市で活用している先進事例をもとに、救急体制における ICT 化の導入を提案した。

千葉県が令和 4 年 9 月補正予算の中で、新規事業として、救急医療等業務支援システム導入事業 1 億 4500 万円を計上した。現場に到着した救急隊が複数の医療機関に患者受入の可否を一斉に照会できるシステムを開発・運用する。



**千葉県 救急安心電話相談**

県内のプッシュ回線・携帯電話からは

**#7009**

ダイヤル回線・IP電話・PHSからおかけの場合は

**03-6735-8305**

受付時間

(平日・土曜日) 18:00 ~ 翌朝6:00

(日曜・祝日・年末年始・GW) 9:00 ~ 翌朝6:00

千葉県

救急車を呼んだ方がいいか、今すぐに病院に行った方がいいかなど、判断に迷うことがある時は千葉県が行っている「救急安心電話相談」を活用ください。

指摘や提案はすぐに通るものではありませんが、まちの課題を共有することで、まちづくりの第一歩が踏み出されるのではないのでしょうか。一般質問の他、市政全般の質疑を行うため、市民からの意見や提言を伺っています。

**松沢** 市道 2334 号線に接続する区画道路、そして関連側道の概要と供用開始の時期について

A 区画道路は、高架橋と並走し、市役所とイオンの間の都市計画道路 3・3・16 号線等を結ぶ道路となる。道路幅員は 6メートルで、車両は相互通行できる。

関連側道は、市道 2334 号線に対して南側に位置する都市計画道路 7・7・2 号線で、初富駅を結び、道路幅員は 6メートル、車両は通行せず、歩行者と自転車が利用できる道路。

**松沢の視点**

区画道路が供用開始すると、市道 2334 号線はこれまで以上に交通量は増加することが想定される。児童の安全を確保するため、通学路と分かる表示や登下校時の見守りといったソフト面での安全対策を早急に講ずる必要がある。



**松沢** 市税の納付方法と市の 1 件当たりの負担について

A

金融機関 窓口納付 市の負担 0円	口座振替 市の負担 10~11円	コンビニ エンスストア納付 市の負担 62.7円	スマート フォン 納付 市の負担 62.7円
-------------------------	------------------------	-----------------------------------	------------------------------------

**松沢の視点**

令和 3 年に三井住友銀行、令和 4 年にみずほ銀行、三菱 UFJ 銀行の支店が船橋市にそれぞれ移転し、窓口納付できる金融機関が減少している。利便性の観点からはコンビニエンスストアやスマートフォンでの納付で補完しているが、納期限の日に自動的に納税され、納め忘れの心配がない、金融機関などに足を運ぶ必要がない口座振替の促進に取組む必要がある。

**松沢** 三菱 UFJ 銀行鎌ヶ谷支店の跡地を市で活用する考えはないか。

A 跡地は、市が所有する用地ではなく、建物を含めて三菱 UFJ 銀行が所有している。現段階において、本市の活用についての具体的な検討はしていない。相当規模の用地と建物になり、財政的にも対応は厳しいものと考えている。

**松沢の視点**

三菱 UFJ 銀行跡地は、きらり市民会館、保育園の敷地と市所有の土地に囲まれている。例えば、現在の郷土資料館を跡地へ移転することで、都市計画道路含め初富交差点を取り巻く再開発のタネ地としての有効性を有することから、市として利活用する余地があるのではないかと考えている。

**松沢** 市道 11 号線の事業概要について

A 市道 11 号線は、約 250 名の児童が通学する道路で、駅前広場へのアクセス道路として整備を進めており、歩道の整備計画は、道路幅員を現在の約 6メートルから 9.5メートルに拡幅するもので、そのうち歩道幅員は現在の約 1メートルから 2.5メートルに拡幅する計画。

**松沢** 事業の進捗状況について

A 駅前広場の用地については既に取得済み。県道から駅前広場への道路用地取得を進めており、令和 3 年度末の用地取得率は約 51%。

**松沢の視点**

駅前広場用地はすでに確保されており、一部供用開始への期待の声もあるが、通学路としての安全を担保するため、地権者を含め多くのステークホルダーとの関係性を維持しながら事業を進める必要がある。

